る砲爆撃下之と激戦を交へ二月一日敵約一個師團の上陸を見るや之を邀撃し勇戦後闘敵に守備せし約四千五百名の帝國陸海軍部隊は一月二千日以降來襲せる敵大機動部隊の熾烈な安然修改。 (昭和十九年)月二千五日十六時) 『クエ ギリン』 島並に 『ルオツト』 島を

たる損害多大

多大の損害を與へたる後一月六日最後の突撃を敢行全員壯烈なる戦死を遂げたり

弾丸盡きれば肉

彈

7-/14t

際は影倒的に感覚な兵力を有するル諸菌クエゼリン聚礁の屋裏守備

スポン廿五日同盟」マーシャ

敵認

包

奮戰

大和武士の真髄發揮

識を反應し織けたのであった

温ナッカル

"ルオツト』島守備部隊指揮官は海軍少將山田道行にして『クエゼリン』島守備部隊 指揮

官は海軍少將秋山

門造なり

なは兩島に於て軍腦約一

一千名も亦守備部隊に協力祭戦

し会員其の運命を共にせり

音羽正彦士

尉戰

シドン連爆

九死に一生四日同盟コロナ帝を襲攻皇「リスボン甘 が亡命オランダ女皇郎宅に落下、町のロンドン大震震に際して懐難 じたが女皇は他く

兩指揮官略歷

Ш

田

遒

行

少

Щ

19

造

少 將

る草を指げると共に職

· Wing Wind Tark 现在所是市宫 秋山門 造少將 原籍帕容

補金器地方海軍人事部課長、

際として干職不識の光产を放つも マーシャル作戦に対する外閣に

するだ大な影照を注ぎ込んだと報上原までに質に一概五千トンに遊

「つてあるが、この一事をもつてし」とても極のクエゼリン環構攻略が如った。 新り、一個 を完全五百 路、数路域に選進するとの烈々た る決意を打覧した、しかしこの通 であるが、今時間に生き疑問に死 月三日頭には『王瀬田 日第十らの影散の複像

郷、一窓を被職隊に燃え上らせて得よう、しかもわが断足は終給本

今こそ就後一願は六千五百の忠

駆火は身近に辿りつくある、この

称に依いてこそ、おれくはクエ 野土の英郷に置かねばなっない

独る 題は米国でより一

選載しながくたとがは

その内部戦を組み米

れは物質でよる攻然以 **悩ることは不可能**をと に平しる砂場は

齢ヲ作ランス

ウ ガ

一通門大関區中部滅岸 店支城京産物藤加

共匪蠢動粉碎

に失う一月神一日午南九時十分を「に向ったか、日本町完帥がの邀略が散かならびに完後による旅襲の「の指地する祭園程と修能戦かとれた勝思と言うる米並の上塵は釜緩」ツト時に少路ハリー・シユミツトル勝思と言うる米並の上塵は釜緩「ツト時に少路ハリー・シユミツトを開めているルオードクホンは三日間盟」マーシャ

元原が湯屋一方クエゼリン漫礁南で午後に至り、ルオツト附近に海

原備の北端に立てるルオ

等モ出來マス オダン

(一ケ五十歳)

各有名食物 品店ニアリ

(張家口廿五日同盟) 寛奈の透斑

世を間てわが所にあおよう場合政

決勝の年

似品プリー富士屋ニー御注意

光照上既部隊を影響ごれに多大の ・ 大照上の第一次では一般である。 ・ 大照上の第一次では一般である。 ・ 大照上の第一次である。 ・ 大照上のまる。 ・ 大服上のまる。 ・ 大服とのまる。 ・ 大服上のまる。 ・ 大服上のまる。 ・ 大服上のまる。 ・ 大服とのまる。 ・ 大服上のまる。 ・ 大服とのまる。 ・ 大服上のまる。 ・ 大服とのまる。 ・ 大

開業の初催に策切以上の成果を連 開業の初催に策切以上の成果を連 がたが、このはいの部隊長は石 びたが、このはいの部隊長は石

と誓はん

今年こそ

楽曜 一ケ月分五四十十

大阪市東監察修町一大阪市東監察修町一

結核に弱體に

200

なり、甘四日公の田蔵主次の

猛然な運動を展開するこ

めたワツドリングはルーズベルズ ペルトの下にかつて鷹野長官を務

馬へ阻止運動ン芸四日ルーズ四期出ているま

パピリオクレー

州・斷じて護持

二、一月六日附左の迪り進級せしめられたりの激戦において壯烈なる戦死を遂げたりの激戦において壯烈なる戦死を遂げたりの激戦において壯烈なる戦死を遂げたり

少佐に進級、功四級を賜る

一月六日「クニゼリン」萬

縄をも実かしむる最別を明かに

個國民の脳を打つたのである

解州護将の御稿と歌つた、立古日

定職者を選応。子の市職はつひと一世命の反逐振響と無款な監察時間の即と集めて四子立首の優雅道、 最報書は「職後を分える職職職のかどなるのでは、まない」の原語を重した。

賜木盃一組
毅功四級授金鵄勳章

功五級 侯 海軍少佐勲

羽

正

2機動部隊をもつてマーシャル勝

欧米は去る一月卅日末明有力な

日末明以降戦艦、巡洋艦など 産域に受攻、わが基地に対

岩脂力なる腫除の配膜の衝撃

大東亞戰爭死歿者行賞(梅思)を記。同日代後四時節制制から企業した

任海軍少佐

、東京電話】長き湿りでは南方第一線の激動地を比烈極まる戦死を終げた英語音初下画

海軍大尉

侯

觀

晋

M

Œ

彦

諸國方面部隊劉認をりし海軍少元

深趣省公表によりマーシャル

別正常候も服使の突撃に比然

*** 「たことを知り、深き感 変えしめられた

帝國海軍は意氣軒昂 じてわが堡土を謎らんがために あります、故に神州を理特と節 は今やすでに彼後國場を接せり といるも数で過程ではないので

との協同ないよいよる素にし難

剛なる必然信念の下、 高全の準備を整へ、全軍結束取

期してゐるものであります デとして 関び放かることを 順う

何ンで國民語言におかれます

機道外を待つてさい

不は好機待つ

「城種を置した

達せる近代酸の性質より数すれるりますけれども、航空機の砂

プリンツ。チールケ腰/ ベオパハター版は甘��! ・ 獨紙、米の猪突を衝く する線送、 預約問題は殆ど解決 一部候ので服大な大平洋地域に勤 配納版の消耗が越大であるのと

最期を悼古と間時に欧米英雄湖の 決証をさらに強くする次帰であり とを順に刻み海軍は駆けてその御 挺身御垂節 せいれたこ 長を勤務ののち、昭和十四年十一 の御九許を得させら

ばならの重大戦制に無し音烈なる

ません、今や國連を踏して際はね 死をせられたとは置に脳機に強へ がくる尊芸御身をもつて李先畿前

大年一月廿二日御紀朔中であつた 二年一月廿二日御紀朔中であつた 同年十二月十七日福兵卿卒業ととも

況戰間週支全

(1)月廿五日魏委)

へ、その緩励を **炎酸は整々施烈** 概空軍活油に到する

るとともに多大の

シャル語品方面部家書館に確せら あって同校を卒間せらるこを破別

世生 200

三千浦貿易聯會社 四川郡精米組合 二和海運商會W 興醬油組合 衆 醫 院

共に苛然の造を加へ來り、

を狙つてゐたことはいるまでもな

億今や戦争進發の秋

たせ五日、影響三田帝町の同僚は、家におかせられてもそれて、領田の学への批談なの歌近が襲奏でれ、問めらせられ、疾な危寒、竹田智・東京都に、東王同島歌歌・方が祖ついて劉申

1114994

佐少

分散兵、後同副砲兵兼分隊長となる一月任大尉、昭和十五年十一月陸興年十二月を戦

本日大本電視表は白本に選挙、とがピタラワ、マキン場で構築をおりずに選挙、とがピタラワ、マキン場で構築

職域において指身の傾言をなる 烈に膨ふべく継続起し、各員のも一様國民は今こそこれらの忠

面の機能はわが本土を担る約三日、

この大阪を独へ勇敢攻闘中

との眠びを勝ち扱かんことを切

もつて島國一丸となって

で選の砂方において行ばれつく でありますが、この重大戦局に

帰田郷相

月にわたる数空車の猛躍に対

層に約一大師圏の兵力を治陸

ン本土地にルオ

候解の際死もありまして、われがあります、特にこの度は音楽

にして、その今後内外に及居す 2.5 とうと対対歌行 1.5 とう 2.5 とう 2

今や職米の主力はその全力をはます

一一一次には独同にすべきかをよく省ったには独同にすべきかをよく省っていた。

ざること火を見るより動かであ、一分に削燥線せられ、島國隆智

しまして倒々胸を打たる人もの

局の態勢は極めて迅速且つ計劃。

烈思軸を果かしむる忠烈に再選はその都度強悪せられたる源り

正羽音

畏し、御悲しみの中にも御滿足

1111111

死の報を長び承る時に思び起せば 微像死に引続き、この度音羽侯職

全海軍、威激

に決意す

大見相とともに国期生の中心と 大見相とともに国期生の中心と 大見相とともに国期生の中心と

頭

挺身御

め難り御紙兄に皆らせられる学彦 一下、北白帆宮大蛇、同妃所敷下、三殿下に引着宮東久瀬宮原匹王殿

> 観言などの弔問も相ついだが、御 をもつて御吊問むらせられ、また

できる

さきに伏見元帥宮曜下の第四男一級とただ恐帳する次第である

響き放棄をされたのも合いき個因

版、一月六日のクエセリントの

能られましたが、優秀なる反線を

事變以

奮戰

次大泉部戦争の第一家に出動今日月海軍大尉に任首、十八年一月今

古安をそれぐる説、攻撃を取行

體(羅答)を、また山戸

戦、1月六日のクエゼリン局の数 なる解検的部隊を襲撃していた数 「暗船和十八年六月海海湖南温校商

各たこまるもなどく、地帯し着る所で、地き地く御瀬足の御様子に輝されて、田田には、大田田には、大田田には、大田田には、大田田田には、大田田田には、大田田田には、大田田田には、大田田田田には、大田田田田田田

| に巻くも比別極度る配形をされた| 同日様原が後に近距、結固修距・大型との進にも開催第一脳の組織| 関心には調整によて起鞭に略す、にて成形が必要に弱きられるや、御一る路界十二世四月一日曹別領・は

海道部隊は これを 激難して激戦の有力なる部隊が来激し、わが陸

には、マーシャル暗島北東海面にを失びたるのみならず、同日夕辺 機を以て我並地に來職、その甘機

とが出来る。

攻に勢し、わが陸海将兵の診路を

に最後の突撃を取行しつく、

難であり、一個社を決して回線に 大性を直視すべき必要性を脱き外

全國を繋げ、火の玉となった祖先を回ることによって、弘安の役に

統を承けるせられて大正三年一月

間羽侯はかくる

なくの

長言御血

即部隊に参加、場子江朔航行戦に出中時として再落海軍陸隊隊の土

三週間、東京に出張

田豊氏 (朝鮮端素社会) 月 消

息....

建院初等科仰入學、同士五生三月

三豆腐に敷削上腹を取行、開文部

を収め続行中であるが、

郷北における航空戦は着々成果

てゐるやうである 撮影を恐れて取ら廻掘版法を採つ

同科御卒業、別縁き同中等科に御 五日御魁生、大正九生四月八日學

し、魏政米英階域の場所に離滅日

武職に歌く武門の御一門であらせ、

部隊大隊長の御家職を御際は、近れ、その個南交家総談、東部第六 年曜大御卒業の御郷脈を特たせらって昭和八年韓土御卒業、同十五

全の決蔵下第世につかせられ、

明教の主義のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、

凡ゆる有熱疾患に

效果確實

9

自水製藥研究所

何恩 10音・元0章

この敵の動物なる物質を特立反。器を以ては如何ともなし難く、

郷する因鉱心と戦闘力とが、よく

一切を勝つための職業に避集すべ

く、持てる者は持てる物を散げ、

赫々

武動輝く

御血統

同節がは支那裏域に実際出動、海に至うたと主うた

特だざる 香はその持てる 心身を

多大の祖宗を與へてその疑問を挫 て國民の使告を帰期し、職局の重

みず、疑ら数と強とによって、ひ攻を無脳し、極大なる消耗をも続

その影響を埋くべきことは、國民

後の群報について、耳を敵て目を 被倒がなかつたどけに、変はその

作品と同意報かところなく、概と を開催に集結せしめる心になった。日本男子なんはしその影響、父母回の開発を美国にすべく。大東にしたる最初に至り、頭の散衆を美国にすべく。大東に、日本男子なんはしその影響、父母回の開発に集結せしめる心になった。日本男子なんはしその影響、父母回の開発に集結せしめる心になった。 悉社の極致といふほかはない。

ラフ朝成策に敗棄さる歌を震乱の るにせよ、なにして撃ಪし、一切を離こと、アツツ路、マキン、タ る一週一派は歌い戦にところである。 ちょり 原記におけ あ一機という。今日米は関切を取り、回して取りをおけれられる。今日米は関切を取り 下る。國を施り成を滅ぼす道が、 あることに做して選挙ることこ

称に「劉達、決成下日夜の御精験 製造官としてわが単連の域高の機関へも側欠大概官機下には選挙 わが関軍の第一級にあらせられて 大校、毎日母様被母な倒去に関す 西域の領式動と強く御一家で 好させ 巻な 陸鷲

省中部)を奇襲した、10日蠍の郷学る90なく紀郷に終々吉安飛行揚の四日午後五時六分戦機連合の大編隊をもつて敵前進基地吉安(江西1002週半5日間2年8次2部の經路艦艦の 数7年9わが陸東航空部隊は二十 吉安を爆碎

河信商事株式會社

三和商工株式會社

どうしても終山取ることが出來な

型の調うを甘藷を取ることが大型の調うを甘藷を取ることが大いであるが、それには四尺の組 気で少くも一尺以上に損ゑることが大切であるが、それには四尺の組

といふ問題があるが、これについ

天野それは是非必要だと献

石原 企業をよう 三節

V の数も出来なかったやうな地際の せい すね なうです、今記は一石 せいする

佐々木しかと番組の音を一所、これは関係的に見ても常然的である。 際に温暖を飲むってをるやうな際に温暖を飲むってをるやうない。 アルドドは製薬問題について、

原、天水省の思いやうな所は としても私をやめて畑に代へると

佐々木さらいる所は木石

| 数にすれば比較的等のつきがいへ

いけない、貯存について容がきん

RCナルは北欧打革の2条がいA のる解らすやうなことがあっては、作らなければならない。そして高 あるが、そのためには旧観したも

くろが、 選びでは一尺二、三寸

に過ぎい、まぞ

からいよ家で小作人の天水省は

人的に米を甘樹に蜿蜒した場合が、間に似

畑の新地国様の二%

とも一百人から三百人以上とれた 空を何ゑてから大分遅かったけれ

しては矢張現在は米をうんと作っ

なかけらずつ調であるから、矢 に称くなければならないのはなる たい、かういうた場面について を独奏る場合に親勢の時はいくが あたい、かういうた場面について 一種の多い 雌る降ば(動物がある、 あたら中来さんのお妻とになった 一種の多い 雌るほぼ(動物の形ないのはなる) 本のでする場合に親勢の時はいくが みないでしまった。

て内地などに行出をしなければな

ける、かういな叫び であるが、何しろ朝

4 の数も収礼なかつた、それが会部との天水帯はこ人四五年本均一石

佐女木大學

天水蚤であつたのを相當の費用を

雨量の多い時は高畝に

貯藏の安全温度は十三度前後

十一次 朝鮮の天水番は水が放ってある

私の所も三年削からやつ

る、昨年は三色やつたのであるがが、私のほうは経穴を利用してを

富水・貯蔵の方法は色々ある

結論は徐剛水分の機関を遊館に古

海大 現る、現在の記念と明 心が中心となってある、

成力の増設に高しよ

指摘だ、数々の腕功を眠る暗殺がを搬殺させに出かける網管の軸頭 みずほらしい温暖点と概と願いて

節径の第一線に米英順域の祭り

の卵方には部守にも窓に一度もまでは河を渡れなめつたのでこまでは河を渡れなめつたのでこ

器りに燃える総修は立ち上つて る第十よならかに眠れ、復仇の クエゼリン、ルオツトに散縦セ

勞務の先決問題

めてあるのだらう、歌らく心ではかと坐って削力を聴む、何を見つ クエゼリン、ルオットにから云つてあたであらう

十一時過ぎ車を添へてトラック

変官を測示する を説象、五時外四面事務所に入っ を説象、五時外四面事務所に入っ

ても、また知事がどんなに動闘いことだ、小磯が如何に努力し

間と極深とが中よくせわばなら

ある。 廿五日、

小磁線後は離戸京

十一時選出間単物所導、韓山郡守

つたほどの山奥である

七二時世分加平郷山系務所着、直

ある、獣管は螺成の本質を脱きといった、ざつくばらんな例子で

ものがよく働いてもらばねばなった戦へる

き、四時世分清平の慰察は遊覧を

第一を作成し、一百の除事員会に所能 数方針を決定、これに非直信機会 の一数方針を決定、これに非直信機会

所要的は総督府に

| 「中戸で、このうち五千四首四十六一の| 年度末窓の氏岩郷散立の十六年以降十九一の

も石方針に戦略すべくこの機本府

どうかな面長さん、錬成やつと

野物影響に対する配問を愛する、 た、そのあとで呼ばようて網索、 を、そのあとで呼ばようて網索、

所用資材は配給斡旋

總督、外西面で末端行政を說く

と警察が仲よく

決定、同日午後情報局よりその内容を發表した

研を関す (六)前各項のほか、防空並に鎮 理をしむ

(三) 芋類の乾燥、魚類の機関

製造禁止品の原風を膨大すると

荷役機械を動員

石炭輸送關係荷役に轉用

表發省通運

刑國の康熙政策をどのやうと運 と共に日満両國を通ぎる食糧 自治成勢の確立のため、今後議 自治成勢の確立のため、今後議

日本女性語録……原田與重解歴代御製語解析。 の書に就て羅……原本東大御稜威あまねし羅語。 東 ス

保健婦となる人へ

女性の生活と統計の興味

共に、規格の統一を徹底す

四、簡素生活徹底の優酷と

家庭、瞬組、吸梭生徒、育多年 五、空地利用の徹底

商級料理館、待合はこれを休 をしめ、家を施設銀行、職業場 などは一時これを閉鎖し、その がなけ、時でれる。

七、高級享樂停止

等化物学の政策と動脈の必要によ 一型調査済みのものについては直 で、原見常は、運輸通常では陸巡 十五日の散薬と附近だとしたので

ちに環施すると共に、その他に関

勤勞動員徹底風化 事樂部面など閉鎖

の刷新の刷新勢體制

(1) 時局突破のためには國民 生活を破底的に削累化し、第一 線が兵の困苦域乏を思ひ、如何 なる生活にも却ふるの医語を固 めしむ

関州な徹底的にこれを意識作物 を動員し、特に大都市に於行る を動員し、特に大都市に於行る を翻、庭園、花卉園などは勿鑑 が庭、工場周泰京地での他の空 関州な徹底的にこれを意識作物

休日縮減、常時執務

て荷役機能助員低簡契調を決定、緊要となったので、その對策とし 復能力を急速に増弾することが

> とくなつた、要綱左の姫し 見下旬中に近施計量を樹立するこ

> > 定例閣議 星原語

馬力以上。熱門

郷山内閣州長官館に特に端席せし 五日の定例閣議は子前十時より昭元日の定例閣議は子前十時より昭

经验高的

められるととなった深本海道次長

長期の事務

切停止

實施要稱(亞通省於表)

一、荷皮段被の助貨質配要加をど出席、まづ五島巡輸通相より

輸送力を飛躍的增强

このなの本年一年間を『精進の一年』とし破く應の方途によってこの学品やな遠域するにある

一、宮廳の決戦執務の徹底一、防空態勢の强化擴充 、享樂部面の諸施設の全面的閉鎖又は停了 一、享樂部面の諸施設の全面的閉鎖又は停了 一、 國民勤勞動員の徹底强化

三、防空體制强化

防空破席に必要なる輸送を軸化用を幅化し、以て販力増売並に用を幅化し、以て販力増売並に

原則として差別リー年間官職新原則として差別リー年間官職新の野山などを行ふるのいまなどを行る。

とへば各官公戦、曾紅などに依 ける物音の保存年限などを極度

底的に行ふと共に、行政の全般係消略につき信益必能を図話版

官吏、公務がその他時局産業隊

附腿施設並に土木建築用機械に被は推路路道及び倉庫での他の

報告題以三月上旬 のものに對し概ね左記により置

一年後一時歌節した

が誠実にそび

ゆる……尾

及海道

冷冷

华阳

畿

神景光太郎 崎 士 耶

7、出也一

里が問題につき祖々就見を交換、

級局の現民際に即原すべき鶯面の を脱明ののちこれを決定、次いで

日製不 多光日 時 銘 華 二 戸 紡鎖途 | 片 想 路 立 網 柄

穗 子忠晴 勇

将來の子供の言葉 [職] 場 の [禮] 法 ……

・動員の劉聚となるべき荷役機要(何)一、荷役機械の範囲

十四、信意必削の徹底

にわたり闘力なる在祭を質施す

・荷役機械の使用状況報告及び

作る慶商省舞師は廿五日の略議で「東京電話」石墨牌画次官雑任に

大臣以后的时期关,任山茂太郎

局長 寺田 省二

農商不同に重攻氏

左の如く決定、發令した

展務員 重政 誠之 任水階長(二)

地方巡ম官(宮風)曾我 祝松

四十相撲のデはどき

排馬頭如事 矮田 千之

任生活物齊層長

作中の航役機械は前項に連

他技機械の開在及び助員質問

決戦非常措置契綱(情報局發表) に参与さればその目的は光がに淺成されぬごよは噛かである。 これに参与さればその目的は光がに淺成されぬごよば峭かである。 これに金融度の積極更融なる端がが順く奥球され、 関連運動の新さなる 原則が即待されてある

C1)原則として中総高級程度以 上の原生生徒はすべて今後1年

理念行ふ

供出をはかる(これがため、たける保育物質の積極的なる活用

十三、保育物会の積極

はかる。以て海運力の彼底的増強型 に、船舶建造の急速増加と船舶推進が行政の制新規化を行ふとれ 強化 海運力の刷新 すべて乙れをそれぐくの地方官の火名官廟の認可など監督的事 十一、裁判検察の迅速化 + 地方委任事務の

に時局犯罪に高する迅速機理の

國民権助政府制を超化し質にそ

環境形など、それべくの機域にの能力をつくして取力的理、食

十五) 「関係の信念で徹底し、間の心臓の信念で徹底し、質を確立する。」 は関係者の服務で関し類 用配置を行ふものとす、これが「外別では健康の終歴をなし所要の判別を行いるのが、他上げ若 令により四用、収用をなし、

指置、本助員の厳選なる質別(一位服務局長(二) しむるものとす

. 製長 楠見 藍男 任群馬線灯車 山林局経 四村 彩一

| 製 型

最後の突撃に蹴し、 必佐がクエゼリン船で

第山縣知事 坂 周州 任地方警事官 任常山縣知事

器 稃

大学 (1) 「日本 (1) 「日本 大学 (1) 「日本 (1) 「日本

電車製品 時親會 卵巣管薬 の単管薬 の単管薬 土改で鮮米増産

古語記

じた人見行という。 國一致で戦つてある

ひ、竹の園生の に将兵と勢害をわ

いる 本府の方針明示

も武脚を向じくして

格があり、武士道日



り、仮兆をあってひ

肝の万数を明かにし、関係各品は あつたが、今後は土地改良一本樹 で引力に指揮せしめんとする機能

きのふ入京 かたまる米人にもわかる。かたまる米人にもわかる。 関の側化、関ははこれも一 戦争に対する能容」である な順手は、大極質と重要と反接する▲米側にとつ める。影響者の撮影など 反射するのは『ルーズ

かしないかのとき、今

調解機の側位になる

小大街 元人月 四人

四八同

田驅除蒸



るが、その點について山内さん一

図をくひしばつて一層の

「飛ばそれ正説と勝ら難くよく日本 ベルト戦争」に 不認だからだ▲ 一識一部に納神を使らせる 吃*熱*

(対きで申込の上、成して下さい)





の五千八百七月、歌曲質収濟のも一てゆるが、來るべき年度と誇いて一の建度に荘切するととくなりうとして配力増度に直接観歌するも一本追のもの手三百五十七月となっ一百十八月と戦神中の五千八百七月 の五千九日四十一戸、「京巡寺中」て「前庭民向のもの七百十九戸、日が終工路であり自下丁市中のも」の「千七百廿戸、工平巡寺中にし は監が関係らり見下ご事中にして

が私はどうも高いと思ふ 牛来内地では貯蔵の安全温できる 富水 最高一四三十段位やつ 個はどの心である

佐々木

電水土五度は終頻高いと思 時期を誤ってをるやうである、知 佐々木

排って生質すると芋が約出して火 るが、失限り銭で出すと、きれ届 がつくから手でやったほうがいく と思ふ 山内、中の動でやってをるが、大概学に苦てない、三尺位すくふ

佐々木 今お終りの方は立

佐々木 それが一番無駄的

問題であるが、朝鮮 佐々木 貯製の

すればよいかといふことが問題り初めの常温を如何にして維持 五世紀世にしてをる 高くても喜文へない

佐々木 会談が上新でとる といることになると品種の動も窓 たければいかやこ思ふ たければいかやこ思ふ

專門薬

景生公區台町八

官武軍海本松

銃後は

事にゆだねられた 事就は、末だ曾 三千年の 暦史に領土の一部が 暦

然なる既死によって顕後に強調し 行機一機、軍艦一部のなる日間を

ることなく必勝の信念で医持しに戦局の一張一伸に一喜一憂す情しみても除りあるが我等は促

の敬能はもとよ

人生は五十年にあらず、また

戦の削釜はなほ遊遊、我等は締ち

へる際後國民の選ばたい一つ配力

越えよう、全員戦死に

量を別

接し、半島にある同胞の腕起を沿 増削以外にはないのである。マー

慣怒を生産の増强

闘ひ能源として関東の岩礁を碧血のに萬州の恨みを呑みつゝ取然と

突進

かにつき軍大なる恐ななで職せね

安閑として削裂に日を設る一人の

総役は他らに一撃一撃するそのひの一造一場はもとすり機管のうへの一造一場はもとすり機管のうへ に限力の増強に延身してゐるか

進

退、戦の常

長周工腳口江

る道は献金のみに限らない、献一般でも多く流れくに悪い、一般でも多く流れくに悪い

終れりとするは決版日本

の特殊顕が百ちの観脳が百ち

班を思ひ、職然標を正して英質にまた事故に到らしめたる魔粉の一

外には無い、今日への一日唯今の

100

砂時をして空戦せしめては

難げて敗力の地強に集中せられね ならない。一切のもの一切の力は また年経に領りしめたる階級の一世年にもあらず、大黒地辺域下日稲倣と、に辿って項上に選したが「本國版の人生は今日離今を描いて、東地辺域下日

心臓師の機能を添けるのだ、順頭に秋川、山田剛猛勝心り、蘇きな

(密もひるまで)野窪一閃鋭く斬り込んでこれを蹂躙、崇御と談園

·颜星**頭**·波尔

子るのだ。血をもつて前級所兵が叫

忠誠に足らざるところなかり

情を心底に抑へ、静かに傾頭を逐ぶのである、われ等は

を思ふ、この目省のみが穏てを

ね、神州不滅、神州の蛇系裁していま雄虚滅への大進軍 を厳して職場人々に称呼の努力と低磁な質量を思されずた欲して概らず、決勝戦ਆの戦力はわれら一隊人力の京を続して概らず、決勝戦ਆの戦力はわれら一隊人力の

続に金貨幣とと選取

を明る得た、神州不扱の島國境を

に残した、然し会員既死なほ大政

を削減名所で当めつけ、縄の、 觀略態感はまさにこれである、敵で破れゝば語ふえげだ、今の日本の

つただらうか、私はこの報を耳に

めらうか、私はこの調研を疑問を概範節配置の中に加はつてあるで

今こそ生産の決戦へ

上本、等外干観五本、一等 一部本だが一萬個常城の率 一部本だが一萬個常城の率

海工業 B校 生徒 教養 と 英美

それが果して生物は一

た。

0

途

織のけじめをつける

表現し解い悲悩を感じたのである

が順くやうな、口に

門子五首の勝兵、

將少須和

藍を切ったぞ、英雄に願へる大道に南川な大鴻虹譜は高唱つ

れは黒して現在の心臓へで前

総一字を遡く至世界に光被させ

一級後のわ

だり一機一路をしるの言葉

ことなく前級へ

略くっと個へるとが出来るのだ、

凝集せよ

切の

牛島同胞の

蹶起望む

やが倒土の一角に観く効果をかけて来た、系製箱間の説間は何物に関ス階を御く構造のなかから一個肥原を抗って起て一個別に住に

エゼリンに、ルオツトに高層の涙をのんで散り征つた六千

一逆流してあるのだ、原せよ、南の

増强こそ絶對

の道

階の級で開催しなくてはならなか

二千五百萬即刻戰鬪配置

もって國際に置らなければ、永遠

破って大田淵源依服々と血の通ふ 間、世紀元立つた、数略の解釈を

等り以思談に開て選々織しのであつた、職故に太々として、職故に太々として、職故に太々として、領域の「学校ヨイゴリスとうか、片幅を大きのリスとうか、片幅を大きのリスとうかのでする状态を含らに届りめかするであった「書話したのかするであった「書話したのかった「書話した」

国際は亡びる状がきたのである

とこで会員版化した、お前途

◎生徒募集

募集

が四銭)

紫内質剤甲込炭溶塩学剤戸市株田園三葉町立てと 切って 人代用に 文化 初完成 一切完成 一切 料理 用に 文化 表表法

合は無用

衛生品,小笠原島、

鞭びの1進一退に1署一帳する

一心、銃後生魔の境際に感覚する必勝の信息を確保し老弱男女一個

長の長にならればなりませ」と なく、 米英を印き流すと なく、 米英を印き流するが、 この殉國野王の

必勝の信念で總蹶起

を興けて決散一途に集中しようが一で一秒一刻を開閉なく関力の衰て

職事独怠において彼我の間に天地的祭婆にありやか知らない、この

ためである、敵はマーシャルに

武こそは大衆八族亀字の忠統である、欧のこの劉陵な歌争日上から採扱すると象徴した、わが削続路兵が戦ひ扱く忠誠的上から採扱すると象徴した。わが削続路兵が戦ひ扱く忠誠的

び、開幕不満でも集留と押し寄せ記録がて、仮切りを終ふ、原因の

次即氏と死別してゐる、蝦竜市林 明大伝統弾運送総所すーの功は をなされたがけどしんだらが位別なが一二兄弟も氏徒所後節約 大変なごとし、任じます、たいを下の対象をは一個ないでは、大きないのでは、またないのでは、またないでは、またないのでは、またないではないでは、またないでは、またないではないではないでは、またないではないでは、またないでは、またないでは、またないでは、またないではないでは、またないでは、また としばし目を明ぢるのだった、 ある、夫人の歌る敷が飾の特

京帝三 秋山門道湖近少野江路 個に架をつけて下さい、利子も る、舞つて米英閣康を刺す、身 『出髪の準衡动子頭跏趾達に上』

秋山少將未亡人は語る の海兵を終て目下海坂中尉として、大きさんでもの外に近世保中勢かった三に居住してある来に人マ と認めてあった、歌族は吳市北辺 下さい』

く今に見よ、米鬼、この仇はき

すくすくと我が子の好く仰びゆく 今では感謝の選手を願いて賦る

丁型腕の腕弾がある、腕弾の部気

一数へ子を満ち足りた気持ちで

な少國民となるのです。

と北溪山風が窓を打ち、四陽

B 死を悩みの副が解復をかすめて つた、『天皇陛下寓談』と笑って した、激励の生活は顧りの様だだ

田氏の心に殺打つた、教科語の一

職場です

戦やあると

明都差上) ・断然額がヘッ ・断然額がヘッ ・断然額がヘッ ・一、神器額がハッ ・一、神器額がハッ ・一、神器額がハッ ・一、神器額がハッ

り闘新

未市民領限用動什相關如土湖

さい

多数

善

ゥヨ

郎

タ 第一次国际市局地方、「十一日午後六時」 四十分急逝仕候間。此段龍台比較生前の御門十分急逝出時人都能出版。 「四十二年」 「四十二年 「四十

その上武人に

についておらに語を指める 人で張は、高いが経滅消だったと

して際島に起た人目を持つ浮すさ

申上げる事な

所を得て

山田少將未亡人は語る

一数和して衣食田の決成生活に渡り一般のる島にも新後婦人は今こそ級

魂跡らす隻腕の訓導

左手で飲料店を持ち、白器をとると発験した

不自由さも生来の負付じ魂で原服

六成四千四百四十八回九 六上四十四





梁の花と散つたマーシャル階はク



南万州頭の機能をなす他力に

げて突進してゐる、各種工業

勝原数を整くてをり、

でがなくなることになった、ではか『たどん』の原料となり設定の初的なども新たに規制を認めわれたども新たに規制を認めない。

の際特に照明したい

一萬圓は五本

る用など変力を付することをこ

と決定を同め仇敵米英國強に、おらに 我々而第人も星隣の奥郷を決す

縮してこそ日本人の資格

由來國難一度來らば、死を順手を操いてはならぬ 響で最後の勝利をかちとる頃

まだどられよ、クエゼリン、ルオット局で散 で
神る火花の
厳寒の
微烈さ、
火花よ
砂れ、
脳板 火花はパツパツと散る、畑面、畑西、 飛機ともなるこの顕板だ、崩潰を棄せて の第士に報いる最善の道であり、

高度に活かして頃前だ、この寸類にも希求し とる唯一の消だ、明日の限力とりも今この服 めであっただらう組織 が、あくこの瞬間迸り出る低力の温しさ、飛いまさぎも掛りしめた他処回戦器ではあつた

を描いても魅力均頭である。

駆線の一

局面にとらはれ

なく、生配あるはずがないのは

にきてゐる、

ことなき倒そだちの身をもつて

流げる、殊に雪羽陰原はやん

の際定利は民間競力なく附くこと
一になってある。なほ宮鉱業増産は
一に対け自からそれくの祖人食放
「西で支渉を開始する

**・
野長とともに
獣殿、
華々**

に近世を整ま別土の思羅と歌に近世に現代の、題んで離園

の間になってある、今回は は等外として間増修手間を 、がも鉱落営域しないでも 、がも鉱落営域しないでも が、ますりでは、

である。そして飛行機である二十

電五九四| 施布 話電 潮長 (外市阪大) 市施布 コウリンスルを推進するの 多さ、認められるので、 取締 はなので、 では はなので、 では にはなって、 では には には には になって、 では には になって、 では には になって、 では になって、 では、 では になって、 では になって、 では たりいては目下生産の経験が とかい、そのうりが とが、そのうりが とが、そのうりが とが、そのうりが とが、そのうりが とがった。

Ti. 百餘

全国原示工作的时间来有什样上来。 第二十七年第二十十十年 19 年 19 日本 1 Ø

後 戦明 太魚知竇業者に告ぐ 東京戦道(2世,現在海域型等等級別人人均の行政事法 明本別が日本とは、日本日 東京戦道(2世)和田田 原本力が1月下8日 協田 7 護州 東京戦道(2世)和田田 原本力が1月下8日 1 護州 東京戦道(2世)和田田 東京戦時が10世 東京戦道(2世)和田田 東京戦道(2世)和田 東京戦

大女情對照表 人女情對照表 企 節

京城在勤海軍武官府

毛淡 戏说是对自己 朝口性病科

純印度カレ粉。明市田協創フー六七上位総六四四九

行。南方共榮圈、大陸、 料製に指導す製法が関係を関係を

安成のでは、 安に立ての成績は強烈外に良いで五回湖まで、子七百歳実、金

真鍮器献納 に咲く美談

海苔收穫良好

に申請中であるが、一般増産とと

殖の計選 本年度は増

回期までには目標の一萬束が俗に

飯銀つて 戦力の 増強へ凡め

して剥物に反攻を織ける職米京にして剥物に反攻を織ける職米京に

(大) 緊急が最 (大) 優良品館 (大) 緊急が最 (大) 緊急が最 (大) 適別が取 (七) 適別が取 (大) 適別が取 (大) では、 (大) をいます。

源料開閉

次

ÍĪ

座日朝

第一放送朝金七・○

第二放送夜条:五

垣山山

正日飛起 基本行品 三本行品

座治明

二機之

日常に表記している。

劇

DED NEW TOWN

8 案

(本大・〇〇少國民の時間〉)(本大・〇〇少國民の時間〉)(本大・〇〇次要学」「昭和職」九・〇〇(東)國門大會側(本大・〇〇次要学」「昭和職」九・〇〇(東)國際工作

海野十三(作)

松次郎(繪)

戦争的アルドンでは、 一川三日を急騰・戦が明から出る。 バス運・博士・募集

原品に関係を

拜、單人慰問、早起荷搭級突盤 棚旅掲揚、正午の祈忘、胂毗参 、制徒済、段智貴、座験會当、際業仕率隊の後足前各行

では、一般のでは、一

情況と無く胸を打

京畿道では十九年度休配物館給計 遊休林野を開墾 林道を新設して木材運搬圓滑化

鯉の養殖

機嫌との間に除いて巷の路域とな

として、関格統制令、暴利行為として、関格統制令部反立十五件を初めて繋頭町、阪川線=駒州郷藤川面 春來る! 佐徳下倉間増売の一覧として鑑を

銃後は婦人で守れ

會員の覺悟で實踐が望まし

巻へて今年の遊むべき道念

より報告を取締め中のところ今般 必要な民官林道を開設すべく各郡め道内各即に敬在する林地開發に

献金佳話

や板場の涙金

この観察物は五十四覧で午回で関(名を選ばれてある仁川神の旗談録)に目を迎くられることなる。なは、漁者にも標が決る――恋様だとの

お局長會議出席のた め内地出版中の創造 日齢事務課長は廿四 日齢事務課長は廿四

日蘇都道府縣支部事 |

張切る德積漁船

別れ獲軍機械終資金にと馬出

みにあらゆる

造成状態を

売取して

派

手入れ等に

検急がなくこの

天の

馬

キロ制質施につき営局へ問ふ

職策と見做す 新本は課税する

クリツブは製税するか

少い眞相は

手提袋に課税 税令改正の質疑應答

工學をしない

ー、インキ無しローラーは如何 勝気機のインキ付ローラ 共にローシーとして敗汲

問ふ答

は戦費です 勝城くためぜひ買ひませう

ながく大きい
国際が全場が
してはちった。
国際が大場が
に関する物質は
国際が大場が
、現状が大は国
を対
ながく
大きい
国際が大場が
に関する物質は
国際が大場が
に関する物質は
国際が大場が
に
対
に
関する物質は
国際が大場が
に
しては
なうない
ながく
大きい

てであるが、お馴染の貯物院物についてあるが、お馴染の貯存する公園につい

殿の一両信、新郷四松年に一本

いふことは、その公債の御だけ一いふことは、その公債を買つてもらかと一

る側指金の妙味を築めることで、

の札を日本銀行へ回収してしま

しる、報國監察としる、交景折朝

出の金部をこれで賄ふことはとて

別民から借りるのです、これを昭れを買ってもらふ、つまり政府が

量が

答名刺の自転は転として取 取扱るが

田高省の間に変された主な温泉

歌に普及じてあないためな家の数 2万名不正な部分をいたいかの のでに普及じてあないためな家の数 2万名不正な部分をいたいかの でに普及じてあないためな家の数 2万名不正な部分をいたいかの

問、作用業業は建築しして成 扱かが 一般がが には、 できれば、 でも、

置(イ)協業技術が指導の綜合

AFERENCE IN A STATE OF THE SECOND SEC

・あたし達も生活を引かってり来。 の大力を加山特別な子が年継が続いていいま大家によってあるがこの がけ出を加山特別な子が年継が続いていいま大家によってあるがこの がけ出を加山特別な子が年継が続いていいま大家によってあるがこの のお丁湯に多を終して念臓の帰立 三日からは、高歌殿士のお台所は一節後奉公に張切ってあるが去る廿 女給さん等が産業戦士へ奉仕

新案防火砂彈

炒燒 間原族はどういふが路で買

世古日県仁川山野家佐を訪れる ※ 変にたっかとうか1つ 記蔵してのかとうか1つ 記蔵してのかて下さい。 と同意感の研究者 と、 変え下さい。 と同意感の研究者 と、 で、 変え にした 一部年があった。

物の早速試験してみたが、至極道と防火砂路で此本保主任以下が立

とが加太郎に向って同時に行ばれ

の大きな機能を織ってあることに

す、配給については逆來は町會で

といる第一級問兵の他の間の野り

邑聯幹部常會

後といふ、係と演いて見ると とこの脚子なら開現中には相 を思ふとき、かうした敵金の なって、 変へて 合計百十六個 四十四 の前線の第十赤線行機を養れが五十七枚などとにふ大口を せんねくとの名ーレかレ大洋 あると十四、五回各一杯、一回 駅いてみたらっそれはありま

旦額 によす、平成器のil

な手段であるといることを整く肝

野と 大門、慰婆も配給のでせらか(西 と 大門、慰婆も) と 大門、慰婆も)

日端の育児と

この假説を取びついた後、悪に一うになった。

留め始かるべきものでなく、真武

斯罗斯世元

大時から、同校窓に於て、開催するが出日、午後一時から、同校窓に於て、開催するが出







考へるほど怪奇であつた。

といふのは、その仮能は更に脱

も信頼にも現はさないのに、相手なぜ、加太郎の依束が、意能に

時心に呼べなって、駆撃を見、そ に頂するのか。もう一つ、なぜ時

の脳の観きまでが囚ばれてあるの

水が應接室影線

野道を関する。

倉區白院 福馬鄉

か変粉の配給を開始することにな

それはどんなごとだったかといる

果、或る日彼は今まで考へつかなさうと、懸命に努力した。その結

洋屋流

生產部面 oggan

る。

出文灣改語日子 征 一位 前化二公型二片

場劇南城

が の第一 の第一 の第一 の第一 の中 ではます。 ではます。

は何とか自分の力で聴答を見出

もつて、二つの謎のどつちもが、 関すが潜んであるのではない

郡、面と一個になり自作機制をと では職員の規則出職、地主説得が 自作墨丁三戸創設 同時に説明できる一つの方肌のこ)の時間中、加太郎の脳の極きを同

医三年二萬年

一位契約が成立するものと原はれ 一位契約が成立するものと原はれ 一位契約が成立するものと原はれ 一

をイン印度印受 (本人五〇三番 を成形を本道1×1〇八甲大川前 京城府を本道1×1〇八甲大川前

藤堂

避」高 れる虎

場劇花桃

完備資來運搬部

場劇洋東

電氣熔接響

李光來 閱言

場劇

劇中

第

捨活 スロ

場劇陸大

医學博士交仁柱 軟岩町三仙楊鶯停鴻 電景 ⑤ 1657 X光線・入院地度

B の整備を日

日子 一門の上では、 宣本意生 を 三本語 生 一は 権 活躍ス 城 場劇央中

所の悪中にもがひない。

京 贇

稅

菊

TTI 緬 鉄 用用 用

傳れス

で 日本語

喜劇

館樂

CHECE B

特種金属用 岐阜東熔 材部 名百萬市中區下前洋町唯前二七〇七 工建 资小市入红有二六〇至









場劇於日京













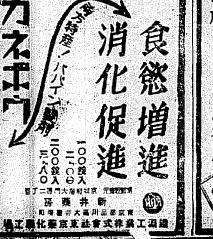


格 幽 (

さん五ケ年來の背腦カリスから仕方が無いと語らめてから仕方が無いと語らめて

が変起している。 はありた電話 治 鄎











痩せいい

